令和５年度 東石山中学校 学校教育ビジョン

【 教育目標 】

自ら学び　広い心で　心身を鍛える 生徒

【 重点的な取組のテーマ 】

個性を認め、可能性を伸ばす

③ **将来に活きる意欲・能力を育む**　　※ 主に授業実践

- これからを生きる生徒たちに、どのような意義がある学習か、伝える。
- 自らの考えを発揮し、互いに高める意欲や能力を身に付けさせる。

② **集団活動を通じて、仲間と共に努力する価値を体感させる**　　※ 主に全校行事

- 事前に活動の意義を伝えると共に、振り返りにより、達成感を持たせる。
- 上級生(特に３年生)からの学びを大切にし、目標意識を持たせる。

① **講話を通じて、心を耕す**　　※ 主に全校朝会・学年朝会・学活道徳

- 嬉しさ・喜びを分かち合え、元気を与えられる集団づくり
- 困り感や失敗を認め合い、次への一歩を踏み出せる集団づくり

【 より充実した教育活動を構想・実現するために 】

小中一貫した教育推進事業

小中３校の教育活動の意義や現状を共通理解し、小中３校それぞれの教育がより進展するための方策を検討・実施する。

生徒指導ネットワーク会議

小学校・地域・行政との協議により、東石山中学校区の児童生徒への有効な生徒指導を探り、学校教育の充実を目指す。

未来づくり委員会

小学校・地域・行政との協議により、地域とともに取り組む教育活動について、方向性や具体的な活動内容を検討する。

「令和５年度 東石山中学校 学校教育ビジョン」について

当校教育において、保護者・地域の皆さんに最も力強くアピールできるのは、「職員が生徒一人ひとりの個性を確実に見取り、職員組織として指導・支援方法を協議し、労力を惜しまずに教育活動を実施している」ことである。当校の生徒たちは、各種の教育活動にとても素直に一生懸命取り組んでいるが、これは日ごろからの職員の指導・支援により、生徒・保護者・地域からの信頼感を得ているからに他ならない。

このことを、令和５年度学校教育ビジョンの重点的な取組のテーマとすることで、更なる教育活動の充実を目指すと共に、これからの可能性を伸ばす教育活動を模索していく。

（重点的な取組のテーマ）　　個性を認め、可能性を伸ばす

その実現のために、以下の３つの視点から、教育活動を推進していく。

① 講話を通じて、心を耕す

生徒の心を耕すことを目指し、全校朝会・学年朝会等で生徒の目線にあった話をすることで、職員と一体となって教育活動に取り組む意識を養う。また、457 名の生徒たちは、全て異なる生活環境の中で違った個性や考え方をもち、その生徒たちが当校で集団をつくっている。だからこそ、集団内での安心感を育み、意欲を養うためには、「喜びや困り感を共有しながら前向きに取り組む集団づくり」が必要である。このことを伝えていきたい。

② 集団活動を通じて、仲間と共に努力する価値を体感させる

前述した集団づくりを踏まえて、完歩大会・東翔祭・合唱発表会などの学校行事に取り組ませ、仲間と共に努力する楽しさや自らの成長について認識させる。特に、仲間とのかかわりを重視し、仲間が与えてくれる元気やエネルギーを認識させ、自己肯定感を高め、より一層の意欲を養っていきたい。

③ 将来に活きる意欲・能力を育む

上記①②の取組により集団が高まることで、より良い授業実践ができる。更に、これからの社会を生きる生徒たちにとって、各教科学習が持つ意義を伝えることにより、意欲も向上し、高い能力を身に付けることができる。これらのことを理念として「主体的・対話的で深い学び」の実践を図り、自らの考えを発揮し、互いに高まろうとする意欲や能力を身に付けさせる。

上記の内容は、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）において承認を得て、保護者・地域の方からの協力をいただきながら推進していく。同時に外部諮問会議として位置付ける「生徒指導ネットワーク会議」「未来づくり委員会」や、「小中一貫した教育推進事業」において、各校の教育活動の意義や現状を共通理解し、これからの東石山中学校区の教育の方針や在り方を協議し、学校経営の改善に取り組んでいく。

特に、様々な家庭環境にある生徒の「可能性を伸ばす」ためには、特別支援教育を念頭にした相談により、一人ひとりの生徒が適切な教育環境で教育活動に取り組むことが欠かせないと考える。この点については、前述の各種会議においてご意見をいただきながら、今後の教育に活かしていきたいと考える。